

NPOテクノ未来塾 第188回 オンライン・フォーラム  
2022年10月15日(土)13:30-16:30  
株式会社いろどり 代表取締役社長 横石 知二氏  
「はっばビジネスから考える、人・自然・経済」

【関連情報】

2022/09/15

【関連情報】：担当・中山理事より

□講師の横石さんは、気象災害をきっかけとして“葉っぱビジネス”を立ち上げて継続成長させ、少子高齢化が進む徳島県の山村の活性化に成功した方です。

□会社紹介 <https://irodori.co.jp/>

□著書

[https://www.amazon.co.jp/s?i=stripbooks&rh=p\\_27%3A%E6%A8%AA%E7%9F%B3+%E7%9F%A5%E4%BA%8C&s=relevancerank&text=%E6%A8%AA%E7%9F%B3+%E7%9F%A5%E4%BA%8C&ref=dp\\_byline\\_sr\\_book\\_1](https://www.amazon.co.jp/s?i=stripbooks&rh=p_27%3A%E6%A8%AA%E7%9F%B3+%E7%9F%A5%E4%BA%8C&s=relevancerank&text=%E6%A8%AA%E7%9F%B3+%E7%9F%A5%E4%BA%8C&ref=dp_byline_sr_book_1)

□具体的な内容は相談中ですが、横石氏のご経験に基づいた山村での新事業立上げや成長、里山資本を活かした地方の活性化などについて、お話を伺おうと思っています。

2022/10/02

10月東京フォーラム担当の中山です。フォーラムの事前情報（その2）をお知らせします。

先日、講師の横石知二さんと直接話す機会をいただきました。

モノの価値、人と人とを繋ぐ、アイデアの泉のような人、という印象を持ちました。

徳島の山村で新しいビジネスに取り組みの中で、様々な苦勞を独自のアイデアと人を巻き込む実行力で克服してきた経験が滲み出していたように思います。

話題に上がったのは、地球温暖化と少子高齢化で、農業の生産効率が高まらないという問題。つながりのない別々の問題のようにも見えますが、実際には日中の5時間ほどは田畑に出られないくらい暑く、作業時間を確保できないとのこと。ドローンを使って頭上に日陰をつくり、ミストを噴霧することで作業できる環境を作るというアイデアを語っていました。

「我慢する、無理を続ける」ことを止め、生き活きと働ける社会に必要なのは「研究・技術・現場」と言い切っておられたのが印象的でした。山村での仕事と企業内の仕事は、業種としてはかなり異なりますが、この観点からは多くの共通点がありそうです。

フォーラム当日は、少子高齢化社会を生き活きさせるワザで盛り上がりましょう。お楽しみに!

中山

---

2022/10/04

中山さん、

> ドローンを使って頭上に日陰をつくり、ミストを噴霧することで作業できる環境を作るというアイデアを語っていました。

前職のときに、似たようなものを万博の待ち行列用に開発しようと考えていました。ただし、ミストではなく幕。これは新規技術開発無しで出来ます。以下の既存技術の組合せでOK。(ミストは水が重いので、固定式で別途を予定していた。)

- ・複数ドローン(マルチコプター)の協調運転、ドローン4~6機の間には粗い(ある程度の風を通すため)幕を張る、セット間の衝突防止もする
- ・画像認識による対象者の自動トラッキング
- ・太陽の向きの検出
- ・複数セットを用意しておいて、電池切れ前に自動で交代
- ・(できれば)自動給電→この機能は、万博用には雇用面も考えて外した。人間の方が安い。

課題はうるささで、ここから、回転翼端の速度を落としたマルチコプターという、ちょっと厄介な開発テーマも派生しました。

こちらは未解決。(風速の条件を限定すれば実現出来るんですけど。)

--

中村(み)

---

2022/10/08

テクノ未来塾の皆様、

今回は、株式会社いろどりの、というよりは講師をお願いしている横石さんのHPをご紹介します。

URLはこちら。<https://irodori.co.jp/news/>

掲載されている美しい写真の数々、かわいいイラスト、見やすくかつ惹き込まれるようなページ構成、そして温かさも強さも伝わってくるメッセージ、どれも素晴らしい！！

日々の天候の変化にもきめ細かく配慮する横石さんの姿も、浮かんできます。

全部横石さんご自身の手作りだそうで、プロレベルのWEBデザインの腕前にも脱帽です。

葉っぱによる“いろどり”の美しさは、こちらでも紹介されています。

<https://www.instagram.com/88irodori/>

今回のフォーラムに参加する方、お気に入りの一枚をDLして、ZOOMの背景にしてみ

ませんか？

中山

---

2022/10/08

今回は、葉っぱビジネスの舞台である徳島県上勝町の姿を行政の視点から描いた書籍から、一部をご紹介します。書籍はこちらです。

<https://www.amazon.co.jp/%E6%8C%81%E7%B6%9A%E5%8F%AF%E8%83%BD%E3%81%AA%E3%81%BE%E3%81%A1%E3%81%AF%E5%B0%8F%E3%81%95%E3%81%8F%E3%80%81%E7%BE%8E%E3%81%97%E3%81%84-%E4%B8%8A%E5%8B%9D%E7%94%BA%E3%81%AE%E6%8C%91%E6%88%A6-%E7%AC%A0%E6%9D%BE-%E5%92%8C%E5%B8%82/dp/4761512458>

この町が、どの様な経緯をたどってきたのか、60年代あたりから説明されています。戦後復興需要から触接活の欧米化や輸入自由化、2・3次産業社会へのシフト、新興国の成長などの様々な社会構造の変化に波と共に、この地域がどのように変わろうとし、次の波を受けてきたのか、そこで得られた真の価値は何なのか、が語られています。

ネタばれになってしまいますが、高齢者が健康でイキイキと働き続けられる仕掛けをすることによって、多世代が同居できる元気な社会が生まれだせる、官庁がつくるルールや補助金に依存しては、地域社会はむしろ衰退してしまう、というのが、メッセージの一つ。横石さんの株式会社いんどりをはじめ町の5つの三セクが連携して、町を元気にしてきたそうです。

出版以来10数年、技術も経済環境も大きく変化しました。

今、この地域では何をしようとしているのか、どうしてなのか、興味津々です。

また、自分の住む地域や職場のために、この町の事例から学べることもたくさんありそうです。

中山

---

2022/10/10

引き続き、前回ご紹介した書籍、『持続可能なまち小さく、美しい』 笠松和市 著 (2008) の一節をご紹介します。 昨年のフォーラムのトピックでもあった林業に関して、徳島県上勝町の事情を説明しています。

戦後の林業政策が“拡大造林”から“輸入自由化”に転換されたことで、林業収益が激減し多くの森林がメンテされない状態になり、その結果、台風や大雨で土砂崩れが起き、河川やダムの機能、海岸にまで影響が及んでいることが記されています。

また、フードマイレージならぬ“ウッドマイル”が、日本は他国の数倍から数10倍にもなっているとも。

そこでこの町では、大径の杉を使う“板倉構法”という工法で、杉が香りシックハウスが起きない快適性、耐震性や長期の耐久性に優れたパネル住宅を開発し、三セクの会社を興して、事業としているそうです。

昨年のフォーラムで法政大・網野先生に紹介いただいた、ご自宅の構法にも通じるものがあります。

葉っぱビジネスと同様に、行政の施策や補助金に依存するのではなく、自分たちの手で現物・現場・現業を実践して問題を解決するスピリットを、強く感じるトピックです。

中山

---

2022/10/12

引き続き、事前連絡その9をお送りします。  
今回は、皆さんも関心が高そうな、葉っぱビジネスの技術のフェーズです。

葉っぱビジネスを少子高齢化が進む山村に浸透できた理由の一つは、横石さんが全国の料亭や卸売市場から足で集めた需要情報を、農家のおばあさんたちにタイムリーに伝達することが出来たから。

80年代半ばは、まだ固定電話と地上波TV主体の社会。そこに、防災無線を利用したファクスを導入して日に一度の発信を実現しています。需要情報の発信には成功したものの、出荷も需要を見込んだ商品に集中して値崩れを起こしていた、とのこと。

次に、PCをレンタルし、専用のサイトを開いて情報発信を始めます。  
見たくなる情報をまとめ、専用のUIをセット。マウスは、お年寄りでも使いやすいトラックボール。カーソルを思ったところで固定できることがポイント。フツのマウスでは、不安定で操作を続けられないから、というのは、“なるほど!!”ですね。

90年代後半、職場でもようやくPCが一人1台行き渡ろうとする時代に、こんなIT作戦を実行するには、かなりの技術力と投資交渉が必要だったと思います。

00年代半ばには、FTTH、つまり光ファイバー網を導入した、というから驚きです。  
この結果、需要を発信し、自分が今日何を供給するかを返信するという、リアルタイムの双方向コミュニケーションを地域全体で実現し、葉っぱ市場の拡大と売値の維持することで、今日の成功にいたっているとのこと。

“気-ボード”、“光ファイバーちゃん”など、  
可愛くてやる気をもたらすユニークなネーミングもいいですね。

(次回に続く)

中山

---

2022/10/13

引き続き、事前連絡その 10 をお送りします。  
今回も皆さんの関心が高そうな、葉っぱビジネスの技術のフェーズ # 2 です。

葉っぱビジネスを、多くの未来塾メンバーの本業である『製造・販売業』の一事例と捉えると、昨日ご紹介したエピソードは深い示唆を与えているのではないかと、思います。

マーケティングと生産・物流を、最新の情報技術を使って繋ぐ、事業の成立に必要な様々な機能を担っている人がその時その場で持つモチベーションを高め、仕事の質を高めて盤石なビジネスモデルを実現する、ビジネスの向かう方向や、技術導入や仕事の指導など、全体をコーディネートするキーロールを続けることで事業基盤を強化し地域社会に浸透させていく。

産業分野や事業環境は大きく異なりますが、見方を少し変えてみると、自分自身の普段の仕事を見直してみる機会になりそうです。

中山

---